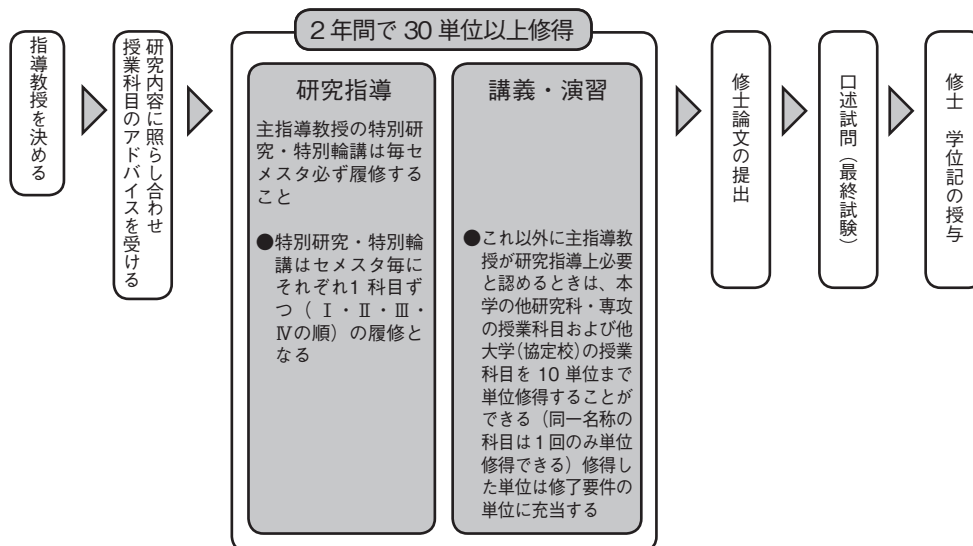


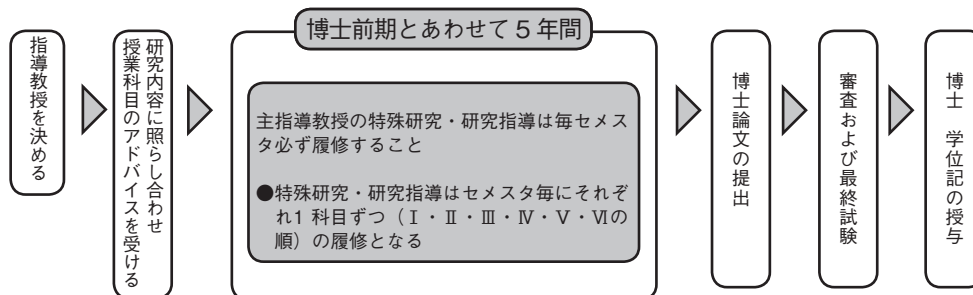
# [工 学 研 究 科]

## 機能システム専攻

### 前期課程 履修の流れ



### 後期課程 履修の流れ



## 機能システム専攻

### 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
◇機能システム分野					
生産システム工学特論	講義	2	教授(兼担) 教授(兼担)	神田 雄一 藤岡 照高	
マイクロメカトロニクス・制御特論	講義	2			休講
計算工学特論	講義	2			休講
人間工学特論	講義	2			休講
知的機能システム特論	講義	2			休講
最適化工学特論	講義	2			休講
脳科学特論	講義	2	教授(兼担)	堀内 城司	
◇機械システム分野					
センシング工学特論	講義	2			休講
流体力学特論	講義	2			休講
数値流体工学特論	講義	2			休講
数値構造工学特論	講義	2			休講
連続体工学特論	講義	2	教授(兼担)	西郷 宗玄	
エネルギー変換特論	講義	2			休講
◇バイオ・マイクロマシン分野					
バイオメカニクス特論	講義	2	教授(兼担)	小山 信也	
ナノ熱統計力学特論	講義	2			休講
マイクロマシン工学特論	講義	2			休講
ロボット工学特論	講義	2			休講
◇機能材料分野					
ソフトマター特論	講義	2			休講
機能材料特論	講義	2	教授(兼担)	和田 昇	
半導体工学特論	講義	2	教授(兼担)	吉本 智巳	
オプトエレクトロニクス特論	講義	2	教授(兼担)	中野 秀俊	
◇ナノエレクトロニクス分野					
電子デバイス特論	講義	2	教授(兼担)	小室 修二	
プラズマエレクトロニクス特論	講義	2	教授(兼担)	本橋 健次	
ナノエレクトロニクス特論	講義	2			休講
電子物性工学特論	講義	2			休講
◇共通科目					
機能システム特別講義	講義	2			休講
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講義	2	教授(兼担)	吉田 善一	
◇研究指導					
機能システム特別研究Ⅰ	演習(必修)	2	}	(各指導教員)	
機能システム特別研究Ⅱ	演習(必修)	2		尼子(兼担)、大久保(兼担)、小河(兼担)、	
機能システム特別研究Ⅲ	演習	2		加藤和(兼担)、小室(兼担)、小山(兼担)、	
機能システム特別研究Ⅳ	演習	2		田中尚(兼担)、田村、椿、寺田(兼担)、中野(兼担)、	
機能システム特別輪講Ⅰ	演習(必修)	2		堀内(兼担)、望月(兼担)、吉田善(兼担)、神田(兼担)、	
機能システム特別輪講Ⅱ	演習(必修)	2		松元(兼担)、本橋(兼担)、山内(兼担)、吉本智(兼担)、	
機能システム特別輪講Ⅲ	演習	2		和田(兼担)、物部(兼担)、山川(兼担)、吉野(兼担)、	
機能システム特別輪講Ⅳ	演習	2		柴田(兼担)、藤松(兼担)	

## 博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
機能システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
機能システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			尼子(兼担)、大久保(兼担)、小河(兼担)、加藤和(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			小室(兼担)、小山(兼担)、田中尚(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			田村、椿、寺田(兼担)、中野、堀内(兼担)、望月(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			吉田善(兼担)、神田、松元(兼担)、本橋(兼担)、
機能システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			山内、吉本智(兼担)、和田、物部
機能システム研究指導Ⅰ			}	
機能システム研究指導Ⅱ				(各指導教員)
機能システム研究指導Ⅲ				尼子(兼担)、大久保(兼担)、小河(兼担)、
機能システム研究指導Ⅳ				加藤和(兼担)、小室(兼担)、小山(兼担)、
機能システム研究指導Ⅴ				田中尚(兼担)、田村、椿、寺田(兼担)、中野(兼担)、
機能システム研究指導Ⅵ				堀内(兼担)、望月(兼担)、吉田善(兼担)

## 履修方法

### 博士前期課程

1. 博士前期課程を修了するためには、◇機能システム分野、◇機械システム分野、◇バイオ・マイクロマシン分野、◇機能材料分野、◇ナノエレクトロニクス分野の5分野の中から4分野を選び、その分野の中から必ず1科目以上修得しなければならない。
2. 原則として機能システム特別研究Ⅰ～Ⅳ、機能システム特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
3. 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる)。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

### 博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、機能システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として機能システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ、機能システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

### 読み替えについて

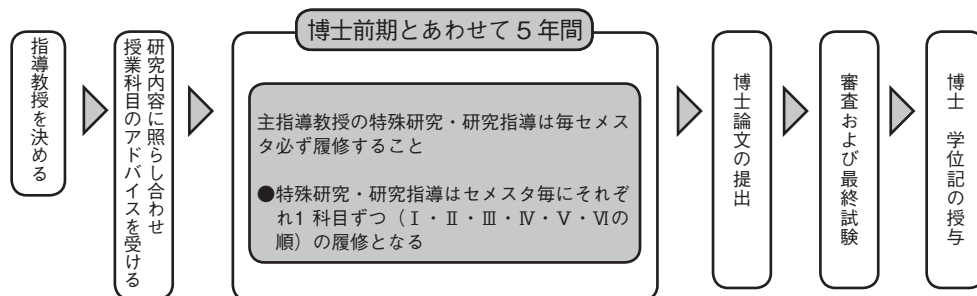
学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。  
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。



# バイオ・応用化学専攻

後期課程

履修の流れ



## バイオ・応用化学専攻

### 博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・ 実験の別	単位	職 名	担当教員
◇研究指導				
バイオ・応用化学特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
バイオ・応用化学特殊研究Ⅱ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅲ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅳ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅴ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅵ	講義・実験			
バイオ・応用化学研究指導Ⅰ			}	(各指導教員)
バイオ・応用化学研究指導Ⅱ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅲ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅳ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅴ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅵ				

### 履修方法

#### 博士後期課程

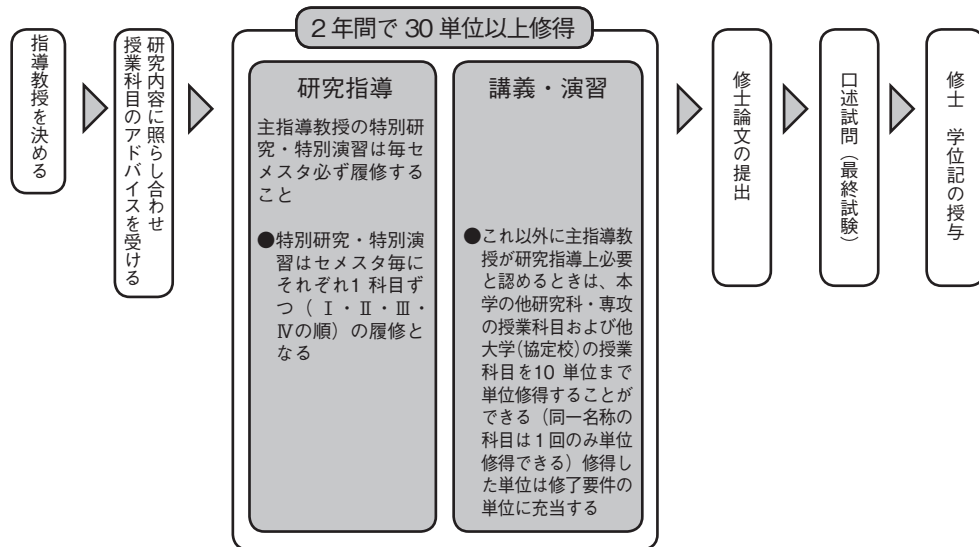
1. 各自専攻分野に従い、バイオ・応用化学研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則としてバイオ・応用化学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、バイオ・応用化学研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

#### 読み替えについて

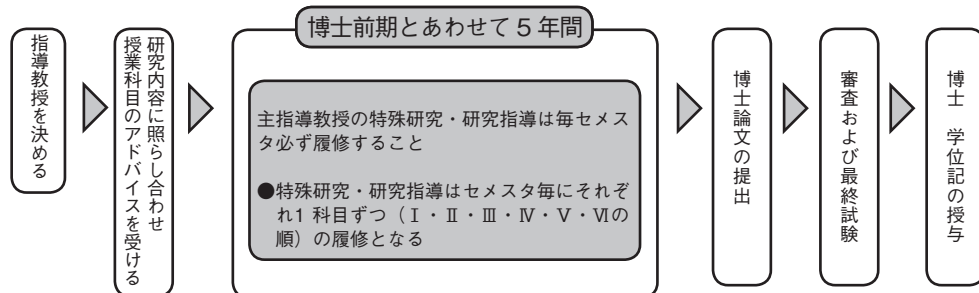
学年暦、窓口、博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。  
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。

# 環境・デザイン専攻

## 前期課程 履修の流れ



## 後期課程 履修の流れ



## 環境・デザイン専攻

### 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
<b>◇デザイン分野</b>					
空間デザイン★	講義	2	教授(兼担)	工藤 和美	
都市・建築論	講義	2			休講
ランドスケープ・デザイン	講義	2			休講
都市計画デザイン	講義	2			休講
環境・デザイン特別設計Ⅰ★	演習	2			休講
環境・デザイン特別設計Ⅱ★	演習	2			休講
<b>◇計画分野</b>					
建築計画特論★	講義	2			休講
生活空間計画★	講義	2	准教授(兼担)	篠崎 正彦	
住環境計画★	講義	2			休講
ビルディングシステム★	講義	2	教授(兼担)	浦江 真人	
まちづくり計画	講義	2	教授(兼担)	野澤 千絵	
都市保全システム	講義	2			休講
メンテナンス計画	講義	2	教授(兼担)	福手 勤	
環境計測工学	講義	2			休講
<b>◇環境とエコシステム分野</b>					
建築環境・設備計画★	講義	2			休講
建築環境工学★	講義	2			休講
流域圏環境システム	講義	2			休講
水圏環境工学	講義	2			休講
地球環境工学	講義	2	教授(兼担)	石田 哲朗	
環境分析	講義	2			休講
環境経済論	講義	2	准教授(兼担)	村野 昭人	
<b>◇建設構造分野</b>					
木質構造学特論★	講義	2			休講
構造解析学特論★	講義	2			休講
構造材料学特論★	講義	2	准教授(兼担)	香取 慶一	
環境材料工学	講義	2	教授(兼担)	須長 誠	
地盤環境工学	講義	2			休講
都市建設材料工学特論	講義	2			休講
構造設計学	講義	2	教授(兼担)	鈴木 崇伸	
<b>◇マネジメント分野</b>					
建設産業経営★	講義	2			休講
地域生産システム	講義	2	教授(兼担)	秋山 哲一	
都市環境政策学	講義	2			休講
環境建設マネジメント	講義	2			休講
基盤システム工学	講義	2			休講
環境解析システム	講義	2			休講
循環資源マネジメント	講義	2			休講
<b>◇共通科目</b>					
環境・デザイン特別講義Ⅰ	講義	2			※休講
環境・デザイン特別講義Ⅱ	講義	2			※休講
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講義	2	教授(兼担)	吉田 善一	



授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
◇研究指導						
環境・デザイン特別研究Ⅰ	演習	2		(各指導教員)		
環境・デザイン特別研究Ⅱ	演習	2		秋山(兼任)、石田(兼任)、鈴木崇(兼任)、		
環境・デザイン特別研究Ⅲ	演習	2		田中毅(兼任)、野澤(兼任)、		
環境・デザイン特別研究Ⅳ	演習	2		福手(兼任)、松野(兼任)、		
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅰ	演習	2		尾崎、工藤(兼任)、須長(兼任)、		
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅱ	演習	2		及川(兼任)、村野(兼任)、浦江(兼任)、		
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅲ	演習	2		小瀬、日色(兼任)、松下(兼任)、		
環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅳ	演習	2		香取(兼任)、篠崎(兼任)		
◇演習・インターンシップ						
特別設計演習Ⅰ★	演習	2	教授(兼任)	松野	一級建築士実務認定インターンシップ	
特別設計演習Ⅱ★	演習	2	教授(兼任)	松野	一級建築士実務認定インターンシップ	
インターンシップⅠ★	演習	2		一級建築士実務認定インターンシップ		
インターンシップⅡ★	演習	2		(指導教員)	一級建築士実務認定インターンシップ	
インターンシップⅢ★	演習	2		意匠系:工藤	一級建築士実務認定インターンシップ	
インターンシップⅣ★	演習	2		構造系:松野(ⅠⅡのみ)	一級建築士実務認定インターンシップ	
インターンシップⅤ★	演習	2		設備系:田中毅(ⅠⅡのみ)	一級建築士実務認定インターンシップ	

(補注) ★：一級建築士実務認定講義・演習・インターンシップ科目(詳細は、別表に示す「財団法人 建築技術教育普及センター」より認定された要件と科目を必ず参照すること。別表については教学課に問い合わせること。)

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
環境・デザイン特殊研究Ⅰ	講義・実験			(各指導教員)
環境・デザイン特殊研究Ⅱ	講義・実験			秋山(兼任)、石田(兼任)、鈴木崇(兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅲ	講義・実験			田中毅(兼任)、野澤(兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅳ	講義・実験			福手(兼任)、松野(兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅴ	講義・実験			尾崎、工藤(兼任)、須長(兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅵ	講義・実験			及川(兼任)、村野(兼任)
環境・デザイン研究指導Ⅰ				(各指導教員)
環境・デザイン研究指導Ⅱ				秋山(兼任)、石田(兼任)、鈴木崇(兼任)、
環境・デザイン研究指導Ⅲ				田中毅(兼任)、野澤(兼任)、
環境・デザイン研究指導Ⅳ				福手(兼任)、松野(兼任)
環境・デザイン研究指導Ⅴ				
環境・デザイン研究指導Ⅵ				

## 履修方法

### 博士前期課程

1. 原則として環境・デザイン特別研究Ⅰ～Ⅳ、環境・デザインプロジェクト特別演習Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
2. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる。（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）修得した単位は修了要件の単位に充当する。
3. 一級建築士受験の学歴要件を満たす学生で、大学院において一級建築士実務経験認定（意匠系は1年または2年、構造系・設備系は1年）を希望する場合、別表に示す「財団法人 建築技術教育普及センター」より認定された、「インターンシップ（学内、あるいは学外）」「インターンシップ関連科目（演習）」「インターンシップ関連科目（講義）」の所定の単位数を履修する必要がある。別表については教学課に問い合わせること。  
なお、「インターンシップⅠ～Ⅴ」のうち、大学院前期課程の修了単位としてカウントすることができるのは4単位までである。
4. ※環境・デザイン特別講義Ⅰ・Ⅱについては、理工学研究科開講科目への読替が発生するが、都市環境デザイン分野と建築学分野により履修すべき科目が異なる。

### 博士後期課程

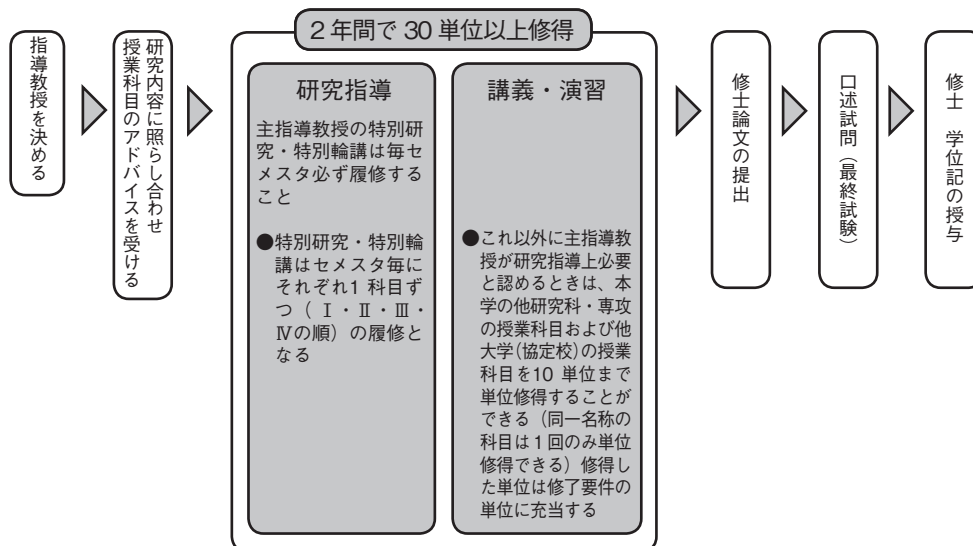
1. 各自専攻分野に従い、環境・デザイン研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として環境・デザイン特殊研究Ⅰ～Ⅵ、環境・デザイン研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

### 読み替えについて

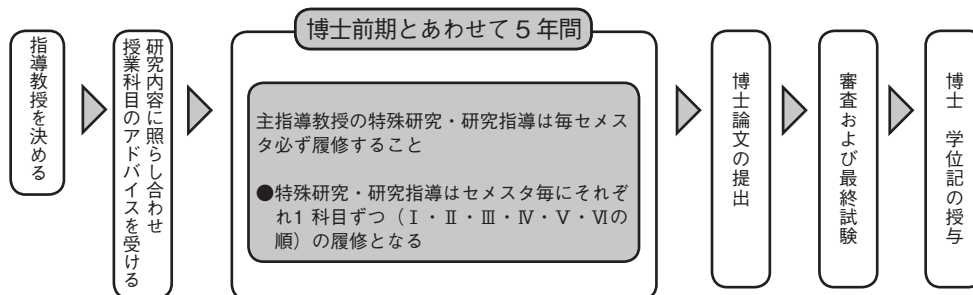
学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。  
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。

# 情報システム専攻

## 前期課程 履修の流れ



## 後期課程 履修の流れ



# 情報システム専攻

## 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職 名	担当教員	備 考
◇計算機分野					
VLSI コンピュータアーキテクチャ	講 義	2			◎休講
オペレーティングシステム特論	講 義	2			休講
計 算 論	講 義	2			休講
ネットワークアーキテクチャ	講 義	2			◎休講
分散処理論	講 義	2			◎休講
プログラミング論	講 義	2			休講
コンピュータグラフィックス特論	講 義	2			休講
◇ソフトウェア工学分野					
システムシミュレーション工学	講 義	2			◎休講
アルゴリズム論	講 義	2			◎休講
ソフトウェア工学	講 義	2			休講
マルチメディアコンテンツ	講 義	2			休講
マルチメディア論	講 義	2			休講
データベース技法	講 義	2			休講
◇情報処理分野					
パターン知能情報論	講 義	2			休講
知識情報処理論	講 義	2			◎休講
認知科学	講 義	2			休講
光コンピューティング	講 義	2			休講
最適化技法	講 義	2			休講
多値論理	講 義	2			◎休講
データマイニング	講 義	2			休講
◇通信・基礎分野					
色彩工学	講 義	2			休講
情報セキュリティ	講 義	2			◎休講
電気通信工学特論	講 義	2			◎休講
アンテナ工学	講 義	2	教 授	藤野 義之	
エネルギー変換・パワーエレクトロニクス特論	講 義	2			休講
電磁波伝送工学特論	講 義	2	教授(兼担)	伊藤 繁夫	
電力システム解析シミュレーション	講 義	2			休講
◇計算機支援設計分野					
半導体数値シミュレーション	講 義	2			休講
集積回路設計特論	講 義	2			休講
機能集積システム設計論	講 義	2			休講
◇共通科目					
情報システム特別講義	講 義	2			休講
バイオ科学とナノテクノロジー概論	講 義	2	教授(兼担)	吉田 善一	
◇研究指導					
情報システム特別研究Ⅰ	演習(必修)	2	}	(各指導教員)	
情報システム特別研究Ⅱ	演習(必修)	2			
情報システム特別研究Ⅲ	演 習	2			伊藤(兼担)、上原、木本(兼担)、塩谷、
情報システム特別研究Ⅳ	演 習	2			篠永(兼担)、土田、藤野、堀口、
情報システム特別輪講Ⅰ	演習(必修)	2			加藤正(兼担)、杉本、加藤千、藤本、
情報システム特別輪講Ⅱ	演習(必修)	2			堺(兼担)、三原、佐野(兼担)、村上
情報システム特別輪講Ⅲ	演 習	2			
情報システム特別輪講Ⅳ	演 習	2			

## 博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職名	担当教員
◇研究指導				
情報システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員) 伊藤、上原、木本(兼担)、塩谷、 篠永(兼担)、土田、藤野、堀口、 加藤正、杉本、加藤千、藤本
情報システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			
情報システム研究指導Ⅰ			}	(各指導教員) 伊藤、上原、木本(兼担)、塩谷、 篠永(兼担)、土田、藤野、堀口
情報システム研究指導Ⅱ				
情報システム研究指導Ⅲ				
情報システム研究指導Ⅳ				
情報システム研究指導Ⅴ				
情報システム研究指導Ⅵ				

## 履修方法

### 博士前期課程

1. 原則として情報システム特別研究Ⅰ～Ⅳ・情報システム特別輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
2. 本表備考欄の◎印については、その科目が情報システム専攻における基盤科目であることを示しており、学生には積極的な履修を推奨する科目として位置づけているものである。
3. 本表に掲げたものの他、主指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる)。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

### 博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、情報システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として情報システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ・情報システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

### 読み替えについて

学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。  
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。